

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略 『進捗』『現状』『今後の加速化』に向けて

資料 2

◎ 進捗・分析

初年度 KPI 達成 状況	単年度KPI達成率	0事業(0%) a: 0事業 b: 0事業 c: 0事業 d: 0事業	33事業(23%) a: 13事業 b: 7事業 c: 4事業 d: 9事業	(凡例) a: 北九州市にしごとをつくり、 安心して働けるようにする b: 北九州市への新しいひとの 流れをつくる c: 若い世代の結婚・出産・子育て の希望をかなえる d: 時代に合った魅力的な 都市をつくる
	計画以上達成 (120%~)			
	計画通り達成 (70~119%)	7事業(5%) a: 5事業 b: 0事業 c: 2事業 d: 0事業	83事業(57%) a: 34事業 b: 14事業 c: 14事業 d: 21事業	
	未達 (70%未満)	9事業(6%) a: 2事業 b: 2事業 c: 3事業 d: 2事業	13事業(9%) a: 6事業 b: 4事業 c: 0事業 d: 3事業	
		・やや遅れ(40~69%) ・遅れ(40%未満)	単年度事業進捗率 ・大要順調(100%) ・順調(70~99%)	

初年度事業進捗状況

※評価対象事業数: 145事業。事業の内容によりKPIが数値目標とできなかったものは除外した。
 ※KPIとは…Key Performance Indicatorの略。施策ごとの達成すべき成果目標。

◎ 評価(総括)

初年度における総合戦略の全体の進捗としては、85%がKPIを計画以上又は計画通りに達成している。これらの事業については、事業を加速化させるとともに、KPIのかき上げ等により事業を強化する。一方、KPIが実績として上がっていないものの原因としては、①事業着手直後で戦略策定から半年では成果が現れていないものや、②市(行政)以外の事業実施主体の事情によるものなどが主な要因であった。効果の出現までに一定の時間を要するものについては着実に事業を進めるとともに、必要なものについては目標であるKPIの達成に向けて、その手段である事業自体のあり方の見直しなども進める。今後は、女性と若者の定着に向け、市(行政)と推進協議会が連携を更に強化し、地方創生の実現に向けて動きを加速させていく。

◎ 改善(総合戦略の見直し 主な項目から抜粋)

- ◆ KPIの上方修正や新規事業など更に推進するための修正内容
 - ・ 基本目標である外国人観光客数を40万人に上方修正(+14万人)
 - ・ 観光・にぎわい更に強化するため「小倉城周辺魅力向上事業」、「旧安川邸利活用事業」を新規追加
 - ・ 北九州ゆめみらいワーク事業のKPI(参加者)を6,500人に上方修正(+500人)
 - ・ ロボット産業振興に関して、介護現場での実証やドローンの活用など記載
- ◆ 事業とKPIの連動性を踏まえ強化するなどした修正内容
 - ・ 市内外の大学生を対象として、本市の地方創生に資する地元企業の就職を促進する「地方創生奨学金 返還支援事業の検討」を追加
 - ・ 市内学生を対象としたインターンシップを「地方創生インターンシップ」と改め東京圏の大学生まで対象を拡大、中小企業向け支援民間就職情報サイトの活用を追加
- ◆ 事業の状況等を踏まえ見直し等をした修正内容
 - ・ 住宅支援の二つの事業を統合するとともに、対象要件の見直し等を実施(「住むなら北九州」事業)

『北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする』

1 若者の地元就職を促進するための取組



北九州ゆめみらいワーク
昨年を超える参加者約6,500人！

「COCプラス」事業

市内・下関市の13の大学等が一体で学生地元就職を促進

インターンシップの充実

東京圏への対象拡大、理系・文系学生とも実施

中小企業向け新卒採用支援

民間就職情報サイトの活用

2 24時間利用可能な北九州空港の強みを活かした大規模な集貨・乗客

北九州空港将来ビジョン推進強化期間（H28～30）



新規国際線誘致強化 3路線就航
(大連、プサン、ソウル)

東九州自動車道沿線地域からの集貨促進

福岡・小倉とのバスアクセスの強化

MRJの飛行試験拠点の整備
(三菱リージョナルジェット)

3 ロボット・自動車産業などリーディング産業の振興を加速化

介護ロボット等を活用した
「先進的介護」の実証実装
特区活用全国初！



「公道を活用したにぎわいの創出(エアーマネジメント)」
特区活用！

4 ベンチャー企業等の創業倍増を促す、日本一起業しやすいまちづくり

スタートアップラウンジの開催
(23件うち東京1件)
北九州市スタートアップ支援貸付制度活用
(これまで10社、8,700万円融資)
中小企業・小規模事業者の生産性向上
及び新たな起業促進の協定締結
(フィンテックの普及)
開業支援資金融資
女性・若者等の支援の「特別枠」創設

5 環境・エネルギー産業の更なる振興

響灘
「風力発電関連産業総合拠点」形成



設置・運営事業者等の募集開始

北九州パワー（地域エネルギー会社）設立
電力供給開始（H28.4.1）



2

『北九州市への新しいひとの流れをつくる』

1 大規模国際会議の開催

G7 北九州エネルギー大臣会合

G7 Kitakyushu Energy Ministerial Meeting
(5月1・2日)



世界獣医師会-世界医師会
"One Health"に関する国際会議
(11月10・11日)

2 都心部における交流人口増に向けた取組



TGC北九州2016 (10月9日)

平成29年3月12日北九州スタジアムグランドオープン!



サンウルブズ vs トップリーグオールドスターズ
(平成29年2月18日開催)
HSBCワールドラグビー女子セvensシリーズ
第4戦日本大会
(平成29年4月22、23日開催)

3 外国人観光客倍増など 市外からの観光客増に向けた取組

インバウンドの取込



ひびきコンテナターミナルへの
大型クルーズ船受入れ

小倉城周辺魅力向上事業



観光客数2,571万人
観光消費額 1,067億円 (6.2%↑)
雇用誘発効果:約1万人

3

4 首都圏などからの北九州への大規模な人材還流

東京での情報発信拠点の整備 (JR有楽町駅前にひまわりテラス開設)



「住むなら北九州市! 民間応援団」創設
移住定住コーディネーター配置
(東京・北九州)

「50歳から住みたい
地方ランキング」全国1位!
「田舎暮らしの本」平成28年8月号

「全国の大都市の中で
最も子育てがしやすい街」
~NHK「ニュース シブ5時」9/7~

『若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる』

1 女性の活躍日本一を目指した女性活躍施策の充実



ウーマンワークカフェ北九州の開設

平成28年5月23日AIMビルにオープン



国・県・市が一体となり、
女性の活躍推進を
トータルでサポート！

ワンストップでの総合支援



2 結婚・妊娠・出産・子育て・教育まで一貫した支援

■ NPO法人エガリテ大手前による評価

次世代育成環境ランキング 政令市第1位

(主要62都市、東京23区)

(平成23～27年度 5年連続10回目)

■ 北九州市の出生状況

合計特殊出生率 1.59

政令市トップクラス

(平成27年 +0.03)

(平成25、26年：1位、平成27年：2位)

北九州市の子育て環境の魅力

- 子ども食堂の開設
- 放課後児童クラブの全児童化
- 小児救急医療体制の充実
- 保育サービスの充実
- 「赤ちゃんの駅」の登録



『時代に合った魅力的な都市をつくる』

平成28年11月30日（日本時間では12月1日）
**「戸畑祇園大山笠行事」が
 ユネスコ無形文化遺産へ登録決定！！**

有形と無形、2つの世界的遺産のあるまち



世界文化遺産

官営八幡製鐵所旧本事務所
 （非公開）

1 シビックプライド(北九州市への愛着・自信・誇りなど)の醸成

映画・文学の街・北九州



撮影 山川雅生

全国巡回展

「追悼特別展『高倉健』」

北九州開催：平成29年1月～2月

小学校への音楽アウトリーチ



杉田久女・橋本多佳子のPR・顕彰

2 現実とイメージのギャップの解消を目指した
 日本トップクラスの安全・安心なまちづくり

地域における安全・安心活動の促進

- ・「1万人の防犯パトロール大作戦」
 平成28年10月安全ベストを着て
 集まった最多人数で**世界記録達成!**
 (2,136人)
- ・防犯カメラの設置 (市内194台)
- ・防犯カメラ補助事業の実施



3 国内外から人を惹きつける海峡都市圏の形成(関門連携)

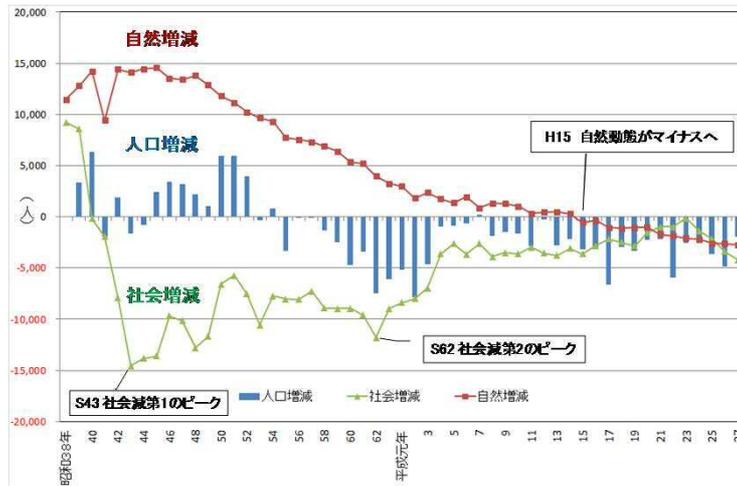
4 福岡県北東部地域市町との連携のさらなる強化

下関市連携事業
 関門のブランド化

北九州市

北九州都市圏域
 連携事業(16市町)

『協働強化による地方創生の加速化』



● 自然動態

- ・ 死亡数増加、出生数低下
- ・ 合計特殊出生率向上

● 社会動態 (10/1～9/30 H27とH28比較)

- ・ 若者転出 : 2,121→1,809人
- ・ 東京圏転出 : 1,457→1,335人

● 交流人口 (H22)

- ・ 市外から流入
27,000人超過/日

地方創生は長い取組が必要となるが、北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会として各構成団体、関係機関での取組を推進していくことで、行政との協働強化を図り地方創生の成功モデルに向けてオール北九州で取り組んでいくものである。

◇ 協働強化その1 ◇

若者が働きたくするような職場環境や処遇の改善、インターンシップなど地元就職の促進

◇ 協働強化その2 ◇

昼も夜もみんなでまちを盛り上げよう！本市訪問者へのホスピタリティーの一層の充実

◇ 協働強化その3 ◇

北九州空港就航路線の積極的な利用、利用促進の周知

◇ 協働強化その4 ◇

ダイバーシティ行動宣言等登録・届出の実施などワーク・ライフ・バランスの推進

◇ 協働強化その5 ◇

一人ひとりがシティセールスパーソンとして定住・移住など様々な場面での広報の実施